



／ 斜里のまちで見つけた「発見」をご紹介します！ ／

# まち発見レポート



施工前のテラス



施工後



作業の様子



作業の様子

## 斜里町立図書館のテラスがきれいに！

10月12日(日)、斜里町技能士会の皆さんにより図書館のテラスの塗り替えが行われました。斜里町技能士会の設立50周年を記念して、昨年引き続きボランティアで修繕して下さった図書館テラス。新館オープンから10年ほど経ったテラスが、ふたたび鮮やかな色を取り戻しました。図書館テラスはこれから、町民の皆さんの憩いの場、交流の場として大切に使っていきます。斜里町技能士会の皆さん、ありがとうございました。

## 斜里町産の秋鮭が給食に登場！

10月21日(火)、斜里町産の秋鮭を使った鮭ザンギが給食に登場しました。メニューに使用されている秋鮭は斜里第一漁業協同組合とウトロ漁業協同組合の定置部会の皆さんから、野菜はJAしれとこ斜里からそれぞれ無償でご提供いただいたものです。大きな切り身を丸ごと揚げた鮭ザンギを口いっぱい頬張る斜里小学校1年生の皆さん。お皿に盛られた大きな鮭を、あっという間に完食していました。



斜里小学校1年生の皆さん



「チーム魚」の皆さん



粉末状に加工した未利用魚



混ぜ合わせた出汁を試食



分量を調節して、味を調節

## 未利用魚の商品化への挑戦が世界大会へ

11月28日(金)から30日(日)まで、斜里高等学校3年次男女6名からなる「チーム魚」が、一般社団法人DFC Japan主催の世界大会「Be The Change Celebration 2025」に出場しました。世界71カ国の子どもたちが集結する舞台上、知床の未利用魚を使った出汁の商品化を目指す取り組みについて発表し、英語での質疑応答に臨みました。本大会に向けて、チーム魚のリーダー森さんは「世界の人々に、知床の魅力と、未利用魚をおいしく活用しながら食品ロス問題を解決できることを伝えたい」という思いを語ってくれました。

皆さんのまち発見を募集しています！ 政策推進課 魅力創造係（☎0152-26-7708）まで

# しれとこざい だん 知床財団だより

2025年12月号  
No.107



知床財団は、知床の自然を「知り・守り・伝える」ために斜里町と羅臼町が設立した財団です。  
野生動物対策や調査研究、森づくり、環境教育活動等を行なっています。

## 今年も、エゾシカ・ライトセンサスやっています！

知床財団では毎年、春と秋にエゾシカのライトセンサス調査を実施しています。ライトセンサス調査とは、スポットライトで林内を照らし、野生動物を探して数える調査です。

この調査は、知床財団が設立された1988年から継続して実施しています。国立公園内のエゾシカの生息頭数を大まかに把握するため、毎年一定のコースを、同じ時期・時間帯に調査することで、エゾシカの増減傾向を経年的に知ることができるのです。



今年度の調査は4月と10月に実施されました。4月に実施された調査では、幌別・岩尾別地区ともにエゾシカの発見頭数が昨年度から大幅に増加していることが確認され、エゾシカの生息密度が高かった約10年前に匹敵する数値となりました。自然環境は常に一定ではなく、様々な要因によって変化し続けていくものです。その目に見えにくい変化を把握するために、今後ものような調査を継続的に実施していきたいと思います。

身近な  
自然を  
知ろう

蝦夷鹿 / Ezo shika deer

### エゾシカ

日本の本州や中国大陸に分布するニホンジカの亜種。ニホンジカの中では、体も角も最大の種類。

エゾシカの特徴はなんといっても、その立派な角。角があるのはオスのシカだけです。その角も冬になると取れてしまい、毎年春に新しいものに生え変わります。

仔ジカはだいたい6～7月に生まれ、しばらくは草藪の中でじっとうずくまって過ごします。仔ジカがひとりぼっちでいても、近くに母ジカがいるので、弱っていると間違えて連れ帰らないようにしましょう。誘拐になってしまうかもしれません！！



夏毛のメスジカと仔ジカ



角が成長した夏毛のオスジカ

### 雪の季節は野生動物の飛び出しに要注意！

冬は野生動物の道路飛び出しに特に注意が必要な季節です。視界が悪い中での急な飛び出しや、凍結した路面での急ブレーキは危険な事故に繋がります。車にも、野生動物にも優しい運転を心がけましょう！

